

第23回 河内長野市地域公共交通会議録

会議名称	第23回河内長野市地域公共交通会議
開催日時	平成26年8月11日（月） 午後3時30分～
開催場所	河内長野市役所 802会議室
公開・非公開の別 （非公開とした 場合はその理由）	公開
傍聴者	0人
出席委員	別紙出席者名簿のとおり
会議次第	(1)「第3期河内長野市地域公共交通網形成計画」（素案）について (2) その他
会議内容	別紙会議内容のとおり

第23回 河内長野市地域公共交通会議内容

発言者	会議内容（要旨）
事務局 （田中）	只今から、平成26年度 第23回河内長野市地域公共交通会議を開会させていただきます。本日の出欠状況ですが、松倉委員、椋本委員、井戸委員、徳田委員については、欠席されると伺っております。また、川幡委員の代理といたしまして、奥田様にご出席いただいております。それでは、この後の議事進行につきましては、会長にお願いいたします。
向井会長	みなさま改めましてこんにちは。本日は非常に暑い中、公共交通会議のためにお時間をとっていただきありがとうございます。はじめに、規則第8条第1項の規定により委員の半数以上の出席をいただいておりますので、会議が成立していることをご報告いたします。また、この会議は、規則第8条第4項の規定に基づき公開とさせていただきますのでよろしくお願い致します。
向井会長	【議題1】 それでは、まず始めに、議題（1）「第3期河内長野市地域公共交通網形成計画」（素案）について、事務局から説明をお願いします。
事務局 （鈴木主査）	（事務局より、「第3期河内長野市地域公共交通網形成計画」（素案）について、資料1の説明）
向井会長	ただいまの説明について、順番にご指摘をいただければと思います。まず新規で紹介のあった21ページの公共交通イベントの実施ということで、事例として東舞鶴高校を取り上げられていますが、実際の参加の状況、効果等は聞かれていますか。
事務局 （鈴木主査）	そちらについてはまだ直接は調べておりません。また今後検討していく上で、他市のイベント等調べていきたいと思っております。
向井会長	モックルバスの車内で催し物をいろいろ紹介したりしていますが、なにか特異な面白い事例などありますか。現在の取り組み等で結構です。
事務局 （水上係長）	今現在は、モックルバスの車内で市のイベントのPRなどしております。イベントにつきましては、昨年度に関西サイクルスポーツセンターで、モックルバスを一日展示し、来場した親子連れに写真撮影してもらったりし

	て、とても好評でした。そのような形で、いろいろな事例を参考にしながら計画していきたいと考えています。あと、モックルバスの車内で広報紙のPR等も行っています。
向井会長	あと小学生の絵画の掲示もされていますね。
事務局 (水上係長)	モックルバスの絵画イベントも毎年実施しています。
向井会長	委員のみなさま、なにかこういう仕掛けをしたら良いのではないかとのご意見があればお願いします。
長谷委員	大阪府運輸支局の長谷と申します。よろしくお願ひいたします。枚方市さんのほうで、一日乗り放題のスタンプラリーをかなり前から実施されていて、年々参加者が増えつつあると聞いています。春の桜のシーズン、秋の行楽シーズンにいろいろな商業施設にスタンプを置いて、商店街の方々も一緒になって取り組んでいるという事例を紹介していただいています。公共交通全般ということは、観光資源と路線バスを活用した取り組みの実施も併せ持って、河内長野市さんのおすすめのスポットを重点的にまわるような取り組みも良いのではないかと思います。もう一点、先程申し上げた河内長野市さんのおすすめのスポットをいくつかまわるルートを決めるのは良いのですが、それにプラスで、計画しているとは思いますが、バスの時間や鉄道の時間というの、ルートと併せて盛り込んでいただけたらと思います。他から来る初めての方もその時間に合わせて来ていただいたら、だいたいこの時間でずっとまわれるのではないかと時間設定もできますし、午前1回、午後1回は、最低でもルートにプラスして時間を決めるとまわりやすいのではないかと考えてます。
向井会長	例えば、観光する場所が30分かかるのであれば、30分過ぎた後、長い間待たなくても良いようにということですね。
長谷委員	そうですね。他市から来る方は土地勘もなくわからないので、時間設定も併せて考えていただければよりわかりやすいのではないのでしょうか。
向井会長	なにか他に、21、22ページについて、アイデアベースで結構ですのでご紹介いただけたらと思います。
日野副会長	計画案を作られるときに、河内長野市ですでに実施していること、定着し

	<p>ていることも加えたほうが良いですね。それらがないと、なにもしていないような印象を与えるので、小学生の絵画展や関西サイクルスポーツセンターでのイベントなど、今実施していることを入れた上で、それらをもっと定着させていくとか、他の事例を参考にしながらさらに展開させていくほうが良いと思います。ちなみに、南海さんとかいろいろされていると思いますが、事業者さんサイドでされていることはどうでしょうか。</p>
奥村委員	<p>当社独自というのは、一度創業5周年のときにしましたが、それ以外ではあまりないですね。イベントではスルッとKANSAIが主催するバス祭りに出展したり、鉄道の日イベントにバスを持って行って、試乗や写真撮影等をしてもらっています。</p>
向井会長	<p>それでは、議題（１）についてはよろしいでしょうか。</p>
浅井委員	<p>河内長野市といえば、緑と歴史、良好な住環境が誇れる部分だと思いますが、以前歴史街道の道しるべの作成に携わっていたとき、当時はまだスマホが普及していなくてなかなか普及できませんでしたが、QRコードを道しるべにつけて、それを携帯で撮るとその周辺の観光情報や交通情報等が確認できるように、NTTドコモさんと連携して試行実施しました。その当時から比べると、今はだれもがスマホやタブレットを持っている状態なので、時刻表など単に交通情報だけでなく、観光情報などを一緒にPRしたら良いのではないかと思います。ただ、ホームページは常に更新していかないといけないので、その仕組みをどうするかということもトータルで考えていくべきだと思います。周辺の観光情報でいうと、南河内は観光キャンペーン協議会があると思うので、そういうところで観光の割引情報とセットでPRしてはどうかと思います。あと、国のほうで交通政策基本法ができて、基本計画を今年中に国がつくることになっています。地方が地方の地域の責任で施策なりを立案して、実行していくということなので、そのあたりも意識して計画をまとめていくと良いのではないかと思います。そこで、冒頭にも申し上げたとおり、風光明媚な景色、良好な住環境、緑、歴史文化がある中で、「環境」というキーワードが、18ページの目標の中に見当たらないので、少し配慮したほうが良いと思います。</p>
向井会長	<p>事務局は、交通政策基本法のベースはおさえていますか。</p>
事務局 (水上係長)	<p>交通政策基本法ができて、法律も改正された中で、今までは「地域公共交通総合連携計画」でしたが、「地域公共交通網形成計画」になったということで、細かな部分につきましては運輸支局さんからも情報提供を受けて</p>

	<p>いますが、この秋に省令が出て、より細かなことが規定されると聞いています。それにつきましては、今回は素案ですが、今年度の策定過程の中で反映させていきたいと思っています。今現在も可能な部分につきましては、できるだけ反映させた中で作っています。その点をまちづくりとの区分を考慮して構成しています。細かな部分につきましては、今後の国の流れを見ながら反映させていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。</p>
<p>向井会長</p>	<p>環境政策などは本市が持っている特性の大きなキーワードですので、うまくやっていききたいと思ひます。</p>
<p>日野副会長</p>	<p>今の件に関連して、18ページにあるようなまちづくりを前提として「元気なまち」とありますが、対象にしているシステムはこういう区切りにしておかないと、個々の政策展開がわかりにくいのだろうということは理解できるのですが、例えば、分類されている中でも、公共交通全般の中の観光資源や商業施設といったものはどちらかというところ「元気なまち」の中の賑わい再生みたいなものですし、バスマップやイベント、運賃の話などは人をもっと移動させるための移動機会創出の支援みたいなものです。錯綜するので難しいのですが、基本的にはまちづくりの中身をどうするか議論の中で、今挙がっているのは高齢者支援や外出機会の創出になっていて、これはこれで良いのですが、大きくくりで言うと「元気なまち」にするにはどうしたら良いのかという話になると、1つは人をたくさん動かそうということや、まちなかをもう少し元気にしようという話と、環境ということであれば、自然環境の他に大気汚染等の環境もありますし、今流行りのウェルネスシティなど、横軸の話がこの計画の中にどのように表現していくかということが少し課題で残っていると思ひます。変えるとややこしくなりますが、冒頭にもう一度大きく整理して入れておくと、交通政策基本法の考え方や本市に照らし合わせて「元気」を表す環境や健康なども盛り込んでいるということを入れたほうがチェックできるのではないかと思ひました。それは今後も議論していけば良いと思ひます。もう一点、QRコードでバス停等にいろんな情報を入れていくのに、どのようなシステムが必要なのでしょうか。バス停であればバス事業者に関連する情報やシステムを構築するときに、今ある公共施設を参考にすれば、どのようにできるかアドバイスがあればお聞きたいです。</p>
<p>浅井委員</p>	<p>10年程前は情報媒体が十分普及していなかったのですが、今であれば、市のホームページに携帯で読めるようなページをつくって、そこに飛ばすようにすれば、さほど難しくはないと思ひます。ただ、絶えず更新しない</p>

	<p>といけないのが大変でした。バス停にそういったものを設置するとなれば、事業者さんとの調整も必須で、慎重な対応が必要になると思います。発想として、単なる交通情報だけではなく、観光情報等とセットにしたほうが良いと思います。その受け皿として南河内で積極的に観光情報等されているところにホームページの母体をおいて、交通事業者さんにエリアで教育してもらうというやり方もありかなと思います。</p>
日野副会長	<p>一方で、バスの情報だけになります。簡易なバスロケがあって、それプラス、既存の観光施設等の固定情動的なもの、事業者さんが簡易なバスロケとして時刻表等を入れられるのであれば、連携していけるところもあるかもしれないと思います。事業者さんがバス停に情報を入れたりするのはどこかでされていますか。</p>
向井会長	<p>南海さんの事例でなにかありますか。</p>
奥村委員	<p>当社では、携帯でも見れるように、時刻表にQRコードをつけています。どこか目的地があったとすれば、バスに降りてから調べられるよりも、バスに乗る前にいろいろ見れたほうが良いのかなと思います。バス停に観光地の情報を入れるのは、お客様にとってどこまで便利なのかわからないですね。</p>
向井会長	<p>提案いただいた内容について、事務局で調べてもらって、事例や新たなアイデアを検証していただけたらと思います。 23ページの周辺市との連携というのは、具体的には大阪狭山市さんや富田林市さんとのイメージですか。</p>
事務局 (水上係長)	<p>今現在も富田林市さん、大阪狭山市さんと情報交換等行っています。引き続き充実させていながら、南海バスさんとも一緒に協議していく中で、新たな路線も考えられないか、情報交換しながら進めていけたらと思っています。</p>
向井会長	<p>ありがとうございます。この下の路線バスのICカードの普及というのは、平成26年度で装置の導入の予算化をしていましたね。スタートするのが平成27年度からということで、そのあたりはどうなっていますか。</p>
事務局 (水上係長)	<p>今年南海バスさんのエリアの中で、堺市さんと松原市さんが導入されて、この4月1日からサービススタートと聞いております。この近隣は足並み揃えて、今年度中に全域導入して平成27年4月1日からサービススター</p>

	トということで、今年度中に導入が進むので、来年度以降で少しでも普及が促進するような割引施策等を考えながら普及させていきたいと考えております。
向井会長	南海バスさんとの話も伴ってのことですが、先程おっしゃった割引施策も、できたら来年の4月の時点で何かできればということですね。
日野副会長	今のICカードだけではないのですが、以前にもあった「企画切符」のように、みんなあることを知らないということがありましたが、マップではなく料金等に関係するような周知、広報といったことは入ってないのですか。最初のところは、バスマップという限定的なものになっていますが、料金の仕組みやカードの導入等をもっと周知して、知ったら使ってもらえるということがありますが、どこかに入らないですか。
向井会長	前日も堀委員から意外と知られていないというお話しがありましたが、広報紙などを媒体としていますが、なかなか伝わらなくて、催しをする場合でも、終わってから催しがあったことを知られることが多いです。
事務局 (水上係長)	昨年配布しましたバスマップは5枚ものでしたが、バスカードやモックルカードなども盛り込んでいます。今年もバスマップは作成する予定ですので、そのあたりも一緒に考えていきたいと思います。
向井会長	アイデアベースですが、「公共交通に乗る促進月間」というものを設けて、大々的にポスターを作ったりするのも楽しいかもしれません。
植田委員	せっかく良い仕組みが入りますので、いろんなPRに協力していきたいと思います。堺市での取り組みとしては、チラシを個別に配布したり、ホームページで掲載したり、あとは南海電鉄と協力して電車の中でPRしたりしていますが、それでもなかなかみなさんに知れ渡っていないので、こういった会議でも協力していただければと思います。
向井会長	回覧板などいろんな媒体を研究してみてもどうですか。あと、曾和委員の老人クラブの集会の際でも、ご紹介していただけるようなチラシをつくったりしても良いかもしれませんね。
濱本委員	市民祭りで実際に乗せていただくというのは可能ですか。子どもたちや大人でも、家に車があるとバスに乗ることがないので、小学校でも電車の乗り方ということで、実際に一駅乗って出かけたりしますが、切符の買い方

	もわからないという話も聞きます。実際に、祭りの会場だと人もたくさん来られるので、案内もたくさんの人に配れますし、子どもが乗れば親も付き添って行くので、バスに乗り込みやすいかなと思います。
曾和委員	毎月1回、約7,000人おられる会員の各代表の方が集会されますので、その際にアピールとして配っていただければ持って帰って見ていただくとと思います。
堀委員	会議委員をやらせていただいていますので、チラシなども隅々までの見るのですが、普通の方ならそこまで見ないですよね。体験乗車などの取り組みをして、しつこいくらいにPRして、一定のレベルまで認知度が上がると口コミで広がるとと思います。
曾和委員	携帯やスマートフォンで情報が見れると一番良いと思います。この前の台風情報も全部入ってきていましたからね。
日野副会長	観光資源の話でいつも出てきますが、観光地で食事したり、お土産を買ったりするところがないという指摘がありますが、これらはどこかの担当で考えたりされないのですか。
扇田委員	23ページにあるように、11月末オープンにむけて「奥河内くろまろの郷」というのを進めています。これを契機に市内の事業者に声を掛けて、商品開発などの話を持ちかけています。これが実を結んでくれれば、指摘のあった件で商品化などできるのではないかと思います。
阪上委員	奥河内くろまろの郷がオープンすれば、路線バスが通る計画はあるのでしょうか。
事務局 (水上係長)	日野・滝畑コミュニティバスを奥河内くろまろの郷に走らせる予定をしております。
阪上委員	何年前かに、観光のほうでバスを使って、お弁当付きで、観心寺、延命寺、金剛寺、サイクルセンター、滝畑ダムの市内の観光地を巡るというものがありました。1年もしないうちにだめになりました。未だに何が原因でだめになったのかわからないのですが、観光地を周るバスは過去にやった経緯があります。
向井会長	何が原因で中止になったのか検証が十分に行われていないので、単純な採

	算の問題なのか、どうでしょうか。
奥村委員	JTBさんと一緒にやらせていただいて、当社としてはバスにかかる費用と一定の利益を乗せた上で収入としていただいたのですが、JTBさんの事業として成り立たなかったということです。
日野副会長	このくろまろの郷などのオープニングは大事だと思います。日野・滝畑コミュニティバスと一緒に、最初のオープニングイベントでパッと打ち上げて、このバスが使えるということをPRしたら良いのではないかと思いますのですが、そういった計画はなにかありますか。
事務局 (水上係長)	オープニングイベント等はまだ考えてはおりませんが、オープン後は乗り入れを農林課と調整していく予定です。
日野副会長	施設ができたということと、バスが走ってるということが別々になっていると、なかなかつながってこないところがあると思うんですよね。
曾和委員	開店したときには、いろんな催し物等を考えてないのでしょうか。
扇田委員	今考えてるところです。ただ、まだいろいろ関連イベントとして、PRのイベントをやっていきたいと思っておりますが、指定管理者が入っていますので、指定管理者を中心に市も入って考えています。また、施設の中身のところを決めているところですので、イベントのことまでは考えがいてないんですけど、ご意見を参考にして、そのあたりも詰めていきたいと思っております。
曾和委員	直売所はJAさんがされるのですか。
向井会長	直売所はJAさんがします。レストランは来年の5月になりますが、あとイトインのコーナーやビジターセンター等は市が建てて、業者が管理します。ただ、おっしゃるように、出かけるのに自家用車だけの世界ではなくて、公共交通をうまく誘導して使える仕組みにしないと、この会議の意味もないですし、ぜひ良いアイデアを出していただきたいですね。
日野副会長	前回のチラシで、関西サイクルスポーツセンター等と協力して、バスを使うことで割引ができるようにしたと思いますが、こういったものについても、バスを使ってくれたらなにか割引があるとか、そういうのをきっかけに出してもらったら良いのではないかと思います。

向井会長	25ページの路線バスのバスロケーションシステム導入というのを新たに提案されて、携帯電話で時刻表やルート図、到着時刻等がわかるようになりますが、これはすでに先進的に取り組まれている事例はありますか。
事務局 (水上係長)	近隣では、大阪狭山市さんがこの4月から導入されて、コミバスが今どのへんを走っているかという状況をスマートフォン、携帯電話で見れるようにされてまして、けっこう良いという話を聞いています。そのあたりはまた研究しながら、本市に合った交通施策を検討していきたいと思います。スマートフォンの普及も進んでまして、若い方たちは旅行などでよく使っているので、そのあたりを参考にしながら、本市のバス情報も提供できるかなということもいろいろ研究しながらやっていきたいと考えています。
向井会長	ありがとうございます。なにか国土交通省のほうでこんなアイデアありますよというのがあれば、ご紹介いただければと思います。どこにおいてもこういった取り組みが進みつつあるということですよ。
湯川委員	そうですね。バスが走っている状況がわからずにずっと待つよりも、今のあたりを走っていて、どこへ向かっているかわかるほうが安心して待てますよね。
曾和委員	26ページ以降の深夜バスについて、深夜ということは22時以降は夜間の時間帯になりますので、運転手さんの賃金も変わってくるのですか。
事務局 (水上係長)	今現在、深夜バスとしてここに載せさせていただいている、南ヶ丘行きや、清見台1丁目行き、一番直近では旭ヶ丘行きで、電車の終電に合わせて南海バスさんが運行されています。それにつきましても、新たに別の路線でもできないかということ、南海バスさんと協議しながら検討していきたいなと思っています。
日野副会長	ちなみに料金が2倍になってますけど、採算ベースはどうなんですかね。新しい方向へ向くにあたって、まずは現状を振り返るということで、状況だけでもお聞きできればと思います。
奥村委員	ぎりぎりぐらいですね。倍料金いただいているんですけども、今の最終バスに乗っておられる方がそのまま移行するだけだと、お客様の数としては増えないので、前のバスが1人減ったということになりますので、できたら純増で増えるのが一番良いんですけど。そういう意味では、どの路線もやれば良いというわけではなくて、深夜手当等の人件費もありますので、

	今の深夜バスの人数を見ながら考えていきたいです。
日野副会長	ちなみに、難波から河内長野方面へ来る深夜バスはあるんですか。
奥村委員	それはまた別に、梅田、難波、金剛駅、河内長野駅、三田市町駅、美加の台駅、林間田園都市まで行きます。
日野副会長	そのあと、それと連絡するバスはないですね。
奥村委員	そのあとのバスはないですね。
日野副会長	駅から歩いて行ける範囲の人は、都心からの深夜バスが使えますけど、離れている人は使えないですね。
奥村委員	確かに足はないんですけど、だいたい河内長野であれば1便あたり1人、トータルで10人程度の利用率です。
日野副会長	それではあまり商売になりませんね。別件ですが、清見台から河内長野駅へ行く新しい路線はもう運行されてるんですかね。
南海バス (大木)	運行しています。昨年の10月26日に運行をはじめまして、中間時間帯の9時台から16時台までです。
日野副会長	利用状況はどうですか。
南海バス (大木)	お声としてまずあがっているのが、清見台まわりはもともと三田市町駅の東側ロータリーに乗り付けてましたが、西側に入ることによって、フォレストなど買い物に行きやすくなった、買い物袋を持って東側まで歩かなくてよくなったという声をよくお聞きします。河内長野駅から乗られて、三田市町駅をまたいで清見台にまた戻っていくといったお客様は、思っていたよりは少ないです。採算はとんとんくらいです。
日野副会長	そのあたりのレビューみたいなものが、この計画の(g)のところを考えようと思うと、せっかくいろいろ先行でやられたところを分析してみることも大事かと思うので、できる範囲で情報出させていただいて、こういうところが問題ではないかとか、改善できるところなど、そういったことも議論する中で、新しいニーズを探すということも可能なのかなと思うので、もし機会があったら、よろしくお願いします。

向井会長	33ページのところでは、今後いろんな地域で公共交通を検討していこうということで、第一交通さんにはくすまるをやっていただいて、非常に実績が上がってきているところです。今、事務局が何か所か入っている地域の様子をみなさんに紹介してもらえますか。
事務局 (水上係長)	不便地域ということで、向野町、桐ヶ丘、自由ヶ丘の3地域で合計11の自治会がございまして、そこに勉強会をしませんかと案内させてもらいまして、希望されるところが3つございまして、向野町で2つの自治会、桐ヶ丘で1つということで、各地域で勉強会を開催いたしました。そのあとにつきましては、また一緒にやってみようということで、今現在、反応を待っている状態で、自治会の中で協議した上で、話が進めば一緒にやっていくつもりで考えています。
坂本委員	観光ということで1つ、現場で観光スポットとして聞かれる意見として、1点目は滝畑の滝、もう1点が、ふるさと文化センターの樹齢300年の切り株ですね。それと、長野市内の酒屋さんで米麴の化粧品について、またそれとは別に、美加の台のほうで、上之山神社前というバス停がありまして、近くにある興禅寺の行き方など、お客様に聞かれて、無線で飛び交ってます。あと、モックルカードの件なのですが、金剛山や岩湧山へ行く方々は、同世代の人たちが横並びの話し合いの中で、すぐお知り合いになるんですけども、どうしても若い世代の方というのがなかなかで、小学校や中学校で、あえて通学で使わない子供たちはほとんどバスに乗らないこともあって、知らない方が多いのかなと感じます。関西サイクルスポーツセンターに行くのでも、片道中学生370円ですから、往復で600円以上になるんです。そうすると、モックルカードを使うべきなんですよ。
日野副会長	以前、滝畑の湖畔観光に連れてってもらいましたが、もともとそのような所にはみなさん車で行きますよね。道具など全部レンタルできたら、体1つで行って、お父さんもお酒を飲んで帰れるので、もっとPRして、バスを使っていけば、車で行くより少し安くレンタルできるとかですね。せっかくあるものが、あんまり活かされてないところもあるのかなという感じもあるので、いろんなものをもっと有効に活用したいですね。市内の人、キャンプとかバーベキューに行きますよね。そういう人たちに、手ぶらで行けるのでバスに乗って行きませんかというのをもっとやれば、そういうときにモックルカードの話と一緒にしていただければ良いのかなと思いました。
榊井委員	河内長野駅から、例えば南花台とか清見台、美加の台へ行くバスがなかなか

	<p>かないんですよね。河内長野駅に出て、家族で食事に行ってお酒を飲みたいときに、電車とバスに乗り継いで行き帰りするのがすごくいやなんですけど、そういうときに「一杯飲み号」ではないですけど、そういうバスがあれば、河内長野、千代田駅周辺で働いてる方も、食事に行けるのかなと。逆に南花台とかには、今フレンチやイタリアンのお店ができていて、夜に食事して帰るときにバスがないんです。昔は市役所も駅近くにあって、仕事終わりに飲む方も多かったのですが、今ここに移転して、車通勤になって、駅前で飲まなくなり、飲み屋街もかなり疲弊してます。バスがすぐに儲かるかは別なんですけど、そんな意味で楽しい企画ができればおもしろいのかなと思います。</p>
池谷委員	<p>その際は、ぜひタクシーもご利用いただきたいですね。昔は、夜22時頃にバスがなくなるので、そのあと乗合タクシーを青葉台と緑ヶ丘で走らせてました。今は観光案内で考えてまして、金剛寺、観心寺、延命寺の観光情報を、観光案内の方からうちの運転手に説明していただく予定です。運転手が案内できるようになったら、ホームページに載せて、他府県から河内長野に呼べるんじゃないかと。これだけ良いところがいっぱいあるのに、他府県から来られる方が少なすぎるので、そちらの観光のほうに力を入れてます。また、くすまるみたいな話をいただければ、利益とかは考えずにやっていこうと思います。</p>
向井会長	<p>他府県に行けば観光タクシーがけっこう走ってますよね。</p>
池谷委員	<p>20年くらい前に、東京、千葉のほうから問い合わせがあって、我々よりよく知っておられるんです。観光地を2、3時間でまわるコースを考えて、2時間コースであれば、1万円ほどで4人乗って全部まわれることになります。これを、復活させようと考えてます。</p>
日野副会長	<p>今に関連してですが、阪上さんが以前観光ボランティアの育成とかやっておられましたよね。</p>
阪上委員	<p>観光協会の中で、観光ボランティアクラブというのがあって、観心寺や延命寺など、3人以上で申し込んでくれたら案内するようになっています。</p>
日野副会長	<p>みなさん、連携していただいたら良いですよ。どの都市も一緒なんですけど、河内長野市は特に目標を持ってということで、まちづくりの観点で「元気なまち」と言ってるんですけど、「元気なまち」のイメージは、どうしても都市の真ん中に人が集まるということだと思ってるんです。この集まる</p>

	<p>場所、電車を乗り換えるということはもちろんあるんですけど、河内長野駅とか中心部に、家族そろって行こうかということがなかなかイメージしにくくなっています。三田市とかもみんなそうなんでしょうけど、まちづくりそのもので、観光も良いんですけど、街中に人を集めようというときに、なかなか集積がないというのか、人が集まって何かをするというのがやりにくいまちになってる感じがあります。先ほどの総計も都市マスもそうなんですけど、謳い文句はあるんですけど、もうちょっと具体的に河内長野の中心部をどうしていくかというところが見えなくてですね、もう少し都市計画のほうにプレッシャーかけるとか、地元と懇談会しながら、人が集まれるような空間や施設を考えるというようなことも、ここの権限外になるかもしれませんが、それを前提にしているので、そこが壊れてしまうと運ぶ人がいないのに走らせるということになってしまうので、関係課で議論いただいて、関連するような事業者さんも含めてですけど、人が集まれるようなものを工夫できないかなと思うんで、この中に入れるかどうか別にしまして、ぜひ検討いただけたら、あるいは皆さんから意見いただければ良いのかなと思います。</p>
<p>向井会長</p>	<p>ありがとうございます。山田さん、気合入れて今の取り組み状況をご報告してください。</p>
<p>事務局 (山田課長 補佐)</p>	<p>おっしゃるように、河内長野駅前に集まる場所がなくなってきてまして、駅前の地権者の方を中心に、その気になっていただかないといけないということで、去年は駅前についての調査をしまして、周辺の地権者の方に、現状はこうですよ、駅前というのは放っておくとだんだん廃れていって、再生もできなくなりますよ、というような紹介をさせていただきました。そして、勉強会をつくりまして、課題も出していただきました。地元の方のお話を聞きますと、ある程度たたき台がないと議論しにくいなということがありましたので、今年度私どもで、そういったたたき台をつくりまして、それにまたご意見いただきながら、地元の方、地権者の方のやる気を興らせて、まちの活性化に努めていきたいと思っております。この点につきましては、当然まちづくりだけでなく、交通とも連携しながらやっていきたいと思っておりますので、また期待してください。</p>
<p>向井会長</p>	<p>なかなか思うようにいきません。ただ、やはり外環状線ができてから、どうしても車社会で、沿道に飲食店とか出始めました。私は駅前の都市開発の社長をさせていただいてますが、今、北館のビルはだいぶ空き店舗が増えるようになりましたけど、南館の飲食のところ、どうしても弱くて、ビルの構造上、23時になったらビルを閉めて、外に面した出入り口があ</p>

	<p>るところは良いのですが、中は全部シャッターを閉めてしまいます。そうしたら、若い人たちの出入りというのは、0時をまわっても時間に関係なく飲みたいということで、なかなかないですね。もともと商店街があって、あの付近というのは昔は大変な賑わいがあったんですけど、そのへんのところを取り戻そうということで、だいぶ空き地が増えてきて、その再生をどうするかということを議論していますので、ぜひ皆さんのアイデアと、こんなことやりたいという方も結構いらっしゃるので、ぜひ良い形にしていきたいと思っています。</p>
堀委員	<p>奥河内くろまろの郷へのバスの便ができるというのがありましたが、私は千代田台なのですが、バスで行くと最寄り駅は千代田駅で、河内長野駅に出る便も若干ありますが、本当に若干で使えないです。バスでくろまろの郷まで行こうと思ってるんですが、千代田駅まで行って、千代田駅から河内長野駅まで電車で行って、バスに乗り継いで高向に行かないといけないので、やはり使えないなど。やっぱり歴史的なことで、もともとバス路線も、通勤のためにできてると感じて、通勤の人もだんだん減ってきてます。また、周遊バスというのも他市ではありますが、どこでも行けるといのはなかなか難しいとは思いますが。拠点みたいにみんなが集まるようなところを中心につくれば良いのですが、やっぱり駅中心になってますから、案外、外から来た人のほうがバスが使いやすいかもしれません。実際に住んでる市民が、市内の他のところに行くのに、バスを使うのはいろいろな面で難しいのかなと感じています。</p>
日野副会長	<p>バスと電車の乗継割引みたいなもの、特に同じ市内の中で、バス・電車・バスとか、両端や真ん中にバスが入るときに、割引料金とか通しの料金をぜひ考えていただければ、もうちょっと掘り起こせるんじゃないかと。堺市の南区だと、バスでターミナル駅まで行って、1駅乗らなくてはいけないので、それだとみんな車でいきますよね。本来的にいうと、バスから電車への乗り継ぎ割引でも良いですし、例えば、1駅区間入れた企画切符だとか、料金抵抗をなくすようなことを考えていただくと、少しぐらいの待ち時間だったらカバーできるんじゃないかと思います。市民が、バスに乗って移動するよりも、車で良いという話になってしまうと、なかなか増やせなくなってしまいます。将来的にはそういったことも考えていただけたらと思います。</p>
向井会長	<p>今日は素案としてのたたき台ですので、いろいろご提案いただいた分、次回の会議ではぜひそのあたりを膨らませて、また先進的に取り組んでいる事例など、参考にしながら取り組んでいきたいと思っています。女性の職員で</p>

	<p>鈴木が入りましたし、濱本さんもいらっしゃいますので、女性の感覚でいろんな形で活かしていけたらと思います。他に事務局からなにかありますか。</p>
<p>事務局 (鈴木主査)</p>	<p>表紙の計画の名前の下に「乗ってはってん公共交通」というキャッチフレーズがありますが、前回の会議でこれを変える検討はされてないんですかというご意見をいただいたのですが、もともと当初事務局側は、こちらの計画、第1期、第2期計画の流れをくんだ形で考えておりましたので、特に第2期からの変更は必要ないと思っていたんですが、前回みなさまにご意見をいただきまして、まちづくりという観点を入れて、もう一度、公共交通の政策について整理しなおしましたので、内容に合った形で、こういったキャッチフレーズが良いのではないかというご意見等あれば、次回までにいただければと思います。必ず入れなければいけないというわけではないので、なしという形でも結構です。</p>
<p>向井会長</p>	<p>「乗ってはってん公共交通」は職員が考えてつけたタイトルなんですけど、ぜひ良い形で委員のみなさまや、市民の方にいろいろ示していく中で、より多くの方に知っていただくということで、アイデアを募集するのも1つかもかもしれませんが、まずは委員のみなさまの中で良いなと思うものがあれば、お願いいたします。</p> <p>それでは、最後にその他案件として事務局からお願いします。</p>
<p>事務局 (水上係長)</p>	<p>次回は、10月に開催する予定ですので、よろしく願いいたします。</p>
<p>向井会長</p>	<p>スケジュール的には今後どんな段取りでいくか、説明できますか。</p>
<p>事務局 (水上係長)</p>	<p>次回の10月の交通会議におきまして、計画の案として諮らせていただきたいと思います。それを踏まえて、11月にパブリックコメントを1ヶ月間実施しまして、12月に回答を作成する予定です。来年1月に交通会議を開催いたしまして、パブリックコメントの回答を踏まえた実施結果と、第3期計画の承認を得て、その後パブリックコメントの結果を公表して、2月に議会で報告しまして、3月に策定で公表する流れで考えております。</p>
<p>向井会長</p>	<p>委員のみなさまとも調整しながら進めていきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。本日はいろいろとご意見をいただきまして、ありがとうございました。先般、日野先生のご指導のもと、水上が東京の</p>

	<p>学会のほうで河内長野市の公共交通の取り組みを発表してまいりました。また、その内容も次回の会議でみなさまにご披露させていただきまして、ご意見いただければと思います。本日は、ありがとうございました。</p>
--	--

河内長野市地域公共交通会議委員名簿

平成26年8月11日（月） 午後3時30分から 河内長野市役所 802会議室

	氏名	所属・役職	代理出席
会長	向井 一雄	河内長野市 副市長	
副会長	日野 泰雄	大阪市立大学大学院工学研究科 教授	
委員	伊勢 昇	和歌山工業高等専門学校環境都市工学科 准教授	
委員	長谷 潤	国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局総務企画部門首席運輸企画専門官	
委員	湯川 義彦	国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局輸送部門首席運輸企画専門官	
委員	浅井 敏彦	大阪府 都市整備部 交通道路室 都市交通課 公共交通計画グループ 課長補佐	
委員	松倉 昌明	大阪府富田林土木事務所 地域防災監兼地域支援・企画課長	欠席
委員	川幡 一哉	大阪府河内長野警察署交通課長	奥田
委員	植田 光昭	南海バス株式会社企画部企画課長	
委員	奥村 夏男	南海バス株式会社営業部営業課長	
委員	坂本 頼幸	南海バス株式会社 労働組合代表	
委員	池谷 育晃	大阪第一交通(株) 河内長野営業所長	
委員	椋本 専次	近鉄タクシー(株) 南大阪総合営業所長	欠席
委員	曾和 孝司	河内長野市老人クラブ連合会会長	
委員	阪上 明	河内長野市観光協会相談役	
監事	井戸 清明	河内長野市商工会理事	欠席
監事	濱本 友美	市民代表	
委員	堀 泰明	市民代表	
委員	徳田 博久	河内長野市健康長寿部長	欠席
委員	扇田 宗彦	河内長野市産業経済部長	
委員	榊井 繁春	河内長野市都市づくり部長	
委員	塩谷 聡	河内長野市総務部長	
委員	辻野 修司	河内長野市総合政策部長	